



まちがど トピックス



■みんなでおいでよ！アクアパークきらめき

7月16日にオープンした市民プール「アクアパークきらめき」は、25℃プールはもちろんのこと、水が滝のように流れ落ちる大迫力のアトラクションプールや幼児用すべり台など、子どもから大人まで楽しめるプールとなっています。同プールは、8月31日(木)までオープン（8月1日(月)は正午まで）していますので、ぜひご来場ください。

※利用料金（2時間）は大人（高校生以上）200円、小・中学生100円、幼児（小学生未満）無料です。小学3年生以下の子どもが利用する場合は必ず保護者が同伴してください。



■未来の富田林を考える

7月17日、消防庁舎で、「未来の富田林をあなたと描く市民会議“Mira-ton”」が開催されました。これは、平成29年度からの10年間のまちづくりの指針となる「新たな総合ビジョン」の策定に向けて、本市で暮らすさまざまな人々と「未来の富田林」について一緒に考えようと企画されたもの。全4回にわたって開催される会議の一回目となる今回は、富田林の魅力や課題などについて話し合われました。

■食生活、見直しませんか

6月28日、エコー・ロゼで、食育月間にちなんだイベントが実施されました。

訪れた人は体重や体脂肪率など体組成の測定をした後、測定結果をもとに栄養士や保健師（けんこう小町）から普段の食生活や健康に関するアドバイスを受けていました。

また、買い物帰りに訪れた人も多く、買った食材から献立の提案も受けていました。



写真とともに見る6月～7月のできごと



■被災地へ届け！復興への願い

7月3日、昭和町二丁目町会集会所で、子どもたちが平成28年熊本地震被災地の一日も早い復興を願い、七夕の飾り付けをしました。

これは、子どもたちに共助の心が芽生え、明るく元気に成長してほしいとの思いで、同町会防犯・防災委員会が企画したもの。風になびく色とりどりの短冊には、「ガンバしくまもと」「早く元の生活に戻れますように」や「字がうまくなりますように」などが書かれていました。

■世界に一つだけのキーホルダー

6月29日、きらめきファクトリーで、「活版樹脂版を作ろう」が開催されました。

活版印刷で使用される樹脂版に、オリジナルのキャラクターや自分の名前などをデザインし、世界に一つしかないキーホルダーを作成しました。キーホルダーに加工された樹脂版は実際に印刷に使用することもでき、参加した子どもらは「かわいくできてうれしい。ランドセルに付ける～！」と笑顔を見せていました。



■ようこそ 歓迎来到富田林へ

7月15日、中国北京市より、中学生を中心とした訪問団が金剛中学校を訪問し、市立中学校の生徒会役員が集まる「8中学生徒会サミット」で交流会が実施されました。

当日は、グループに分かれて、お互いの国で人気のあるスポーツや音楽などについて、身振り手振りを交えながら英語で話をしたり、記念品を交換したりするなど、楽しそうに交流する姿が見られました。

■異国の子どもたちの力に！

6月24日、青年海外協力隊として、ケニア共和国へ2年間派遣される予定の野之上 愛梨さん（錦織南）が市役所を表敬訪問しました。

野之上さんは、現地の特別支援学校で障がいのある子どもたちの支援をするとのこと、「子ども一人一人の個性を伸ばしてあげたい」と話していました。

多田市長は「体調管理に気を付けて頑張ってください」と激励しました。

